

月刊

# 利根日石新聞

2009年11月1日創刊 令和3年11月号

第000146号

発行  
利根日石株式会社 TEL 0278-24-1635  
本社販売管理課 FAX 0278-23-7980



秋も深まり、朝晩の冷えにみが、身にしみて、  
体に堪えるようになってきました。ちょっと油断すると  
体調を崩してしまうので、気をつけようと思います。  
今年は急に雪が降るかもしれないので、冬タイヤの  
準備も早めにしてしまおうと思っています。

介護認定を受けている母は、度々書類を書く事が  
多く、私が代筆しています。うっかり自分の住所を書いて  
しまったり、署名の所も、旧姓で、自分の名前を書いてしまったりと、失敗が多いです。どなたか認知症が  
(笑)

昨日、昔からの洋品店に母の『ももひき』を買いに行き、い元のおばちゃん「まあ、おわてじ」と、  
ごたくしている中から、サッと3種類位出してくれます。おばちゃんも足が痛そうです。  
ポイントカードに母の名前を書こうと思っていたのに、旧姓で自分の名前を書いてしまった。お母さん  
その事で、おばちゃんと話し合ったり、ちょっと気が晴れて、帰ってこられました。人と話すのが  
\* 去年のクリスマスケーキ、分けずラフしておいたら、レンジでチン。お母さん、今年は大丈夫かしら

3人息子のわが家では... とうとう、去年から念願の冷蔵庫を買いました!! 冷蔵庫は  
去年の夏、冷蔵庫が冷凍庫になってしまい、中の物が凍りシャーベット状態も  
もう25年もたつし、買い替え時がなほと悩んでいたから、秋には直っていました!!  
それからずっと考えていて、古くは電気代もかかるし... 閉じてても時々開くし... と  
悩み続けてやっと買いました。今までぎゅぎゅう詰めだったのが容量の多いものにしたから、今度は  
スカスカ! 地蔵に貯めたハンクリよ、さようなら~  
秋の夜長、どうお過ごしですか? 私は以前読んだコミック本で「ピアノの森」が  
偶然、ネットフリックスでアニメ版を見つけ、久しぶりに見ました。内容は、森に捨てられた  
ピアノで遊びながら育った『一瀬海』が、かつての天才ピアニストや偉大なピアニストの父を持つ  
友人との出会いの中で、ピアノの才能を開花させていくというストーリーです。本と違い、曲が  
聞けてとても良かったです。ショパンのピアノ協奏曲にetc... じん温まる、優しい気持ちに  
してくるアニメです。良かったら見て下さい! ピアニスト気分にもなれるかも??



# ガソリンが高くて御免なさい!

## ~石油製品の価格上昇の原因と今後~

連日のようにガソリンを始めとする石油製品の価格が高騰が報じられています。全国、いえ、世界規模で原油  
価格が上昇している為で、従って私たちも「御免なさい!」と言うべき問題じゃないのかも知れませんが、  
それでも給油に来て頂くお客様や、配達をさせて頂くお客様にはいつもに比べてかなり高い料金を頂くな  
ければならない立場からすると、申し訳ない気持ちでいっぱいなのです。  
とは言え、毎週上がる仕入れ値に対して販売価格も上げざるを得ない現実もございまして、せめてこの価格  
高騰の理由は何なのか? 今後どうなるのか? を皆さんにご説明する事が業界人の端くれとして最低限の役目と  
考えておりますので、暫しお付き合いください。

この原油価格の高騰は、コロナからの経済回復(↑)と、産油国の原油増産(↑)のペースが合わ  
ないことが原因と、ニュース番組などでは紹介されています。端的にはそうなんですけれども、実際はもっと様々な  
要因が絡んでいます。少し詳しく、でも簡潔にお伝えしたいと思います。

まず、中国のエネルギーシフトです。世界最大のCO2排出国である中国が脱炭素に向けてCO2排出の多い石炭火力  
発電を停止し、比較的CO2排出の少ないLNG火力発電に切り替えています。その為に、アジア市場でLNGを  
買い取り価格が高騰しています。アジア地域のその他の新興国はLNG高騰を受け、LNG火力発電から  
石油火力発電に切り替え、結果として原油価格を引き上げる結果も招いています。

一方、欧州でもLNG価格が高騰しています。天候不順により水力発電が低迷、不足を補う為に火力発電用  
LNGの需要が高まり、たにも拘らず、ロシアが政治的背景から欧州へのLNGパイプラインでの供給量を引き上げ  
ない為です。直接は関係ありませんが、英国ではブレグジットとコロナによって極端なドライバー不足に陥り、スタンド  
にガソリンが届かず、行列が続き、市民はエネルギー危機に陥っています。

通常であれば、LNG最大の産出量を誇る米国のシェールガスがアジアや欧州の不足分を賄い、結果として価格安定  
に動くところが、米国内のLNGプラントが既にキャパオーバーで輸出に回せる余裕がありません。8月に米国  
南部を襲ったハリケーン「アイリーン」の被害により石油出荷が滞り、一部、LNGで代替は影響もあるようです。

と、このように、アジア、欧州、米国と、北半球の人口集積エリアでLNGと原油が高騰しています。その理由は  
上述のように、それぞれの地域によって異なりますが、元を辿れば2つの要因に集約されます。1つはコロナ  
からの需要回復、もう1つは脱炭素の流れです。

日本でも外出自粛など経済活動が制限されましたが、他の国ではより激しいロックダウンのような、そんな経済  
活動がストップした地域も少なくありません。昨年4月にはその影響で原油価格が一時的にマイナスに  
なるという過去に例のない出来事が起きました。そんな麻痺状態から徐々にではあるにせよ、世界の主要エリアで  
同時に経済活動が再開すれば、その影響は計り知れません。加えて脱炭素の流れの中で、生産や備蓄の施設を  
閉鎖したり、設備の更新やメンテナンスが十分でなかったりする中で、経済活動の再開、しかも時期としては北半球  
での需要のピークである冬を迎えるこの時期に重なったことにより、供給が需要に追いつかない状況となっています。

このように、世界中でエネルギー資源の不足が生じている中で、英国のようにガソリンも買えない状況に陥ると  
1970年代のオイルショックを思い出す方もいるかも知れませんが、現在の原油価格や先物市場の動向を見る  
限り、そこまで深刻な事態には陥らないでしょう。(当時は原油価格が3~4ヶ月で4倍にまで高騰した)  
今後の見通しとしては、原油については気象状況(長期予報で春までの見通しが立つタイミング)や産油国による増産  
計画発表のタイミングなどで価格動向の予測目が変わることを期待したいのですが、LNG不足は電力需要期  
である冬を超えるまでは解消しにくく、その為、原油高騰も長引く恐れも孕んでいます。